



森のなかま

2025年 3月号

NO. 201 (継続346号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 黒川 敏史
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

かながわ森林インストラクターの会 2025 年新年イベントを 5 年ぶりに開催

令和 7 年 1 月 13 日 (月・祝日)

【午前の部】安全の集い

時間 10:45~12:00

場所 やどりき水源林

参加 会員 60 名

【午後の部】新年の集い&18 期生歓迎会

時間 13:10~15:05

場所 松田町 綿屋

参加 会員 67 名

幹事：高谷秀史⑰、森本利弘⑰、内田祐子⑰、小国一男⑰



コロナ禍により実施を見送ってきた当会の新年イベントを、前回令和 2 年 1 月実施から実に 5 年ぶりに開催しました。二部構成とし、午前中は「安全の集い」として、やどりき水源林休憩棟前にて安全大会を行い、午後は「新年の集い&18 期生歓迎会」として、松田町の「綿屋」に場所を移し、新たに入会した 18 期生の歓迎をメインに会員の親睦を深めました。

【午前の部】

当日朝、やどりき水源林は気温約 6 度ながら快晴で、山の稜線に空の青さが映える気持ちの良い天気となりました。参加者は幹事特製の「安全おみくじ」を貰って新松田駅をバス 2 台で出発。そのせいか道中スムーズに現地着、定刻どおり高谷安全管理委員長の司会で「安全の集い」を開始しました。

黒川理事長の新年の挨拶、広浜インストラクター⑰指導による「林業体操」の後、高谷安全管理委員長が 2024 年の振り返りとして、昨年の活動における事故・ヒヤリハット発生事例の内容とその対策、併せて作業マニュアルの改訂について説明しました。



安全の集い 次第

1. 開会宣言
2. 理事長挨拶
3. 集合写真
4. 林業体操
5. 安全管理委員会紹介
6. 2024 年振り返りと研修案内
7. ブラッシュアップ研修アンケート
8. 安全宣言
9. 歓談

「安全宣言」では、滝澤住友三井オートサービスの森事業部長、水口やどりき事業部長、内野日本触媒の森事業部長、ならびに國弘蟹田沢事業部長より、事業活動における「安全」への取り組みについてコメントを受けました。また野牛ネットワーク派遣管理部長からは、ネットワーク活動（森林再生パートナー企業・団体の森林整備、学校における森林学習）へインストラクターとして積極的に参加するよう、あらためて呼びかけがありました。

安全大会パートを滞りなく終え、バス出発までを歓談タイムとし、用意しておいた丹沢の地酒「松みどり」を手に、宮下インストラクター⑱の乾杯で本年の活動の安全を願いました。

会の本拠地である「やどりき水源林」でその年の安全を祈念することは会員にとって特別な思いであることを改めて感じました。

安全の集い



【午後の部】

「安全の集い」が無事終了し、バスは気分上々となった参加者を乗せ、やどりき水源林から松田町に向かいました。会場となる「綿屋」での宴席も 5 年ぶりです。今回、席次はくじ引きで決め、17 期生と 18 期生が分散して座るようにし、席にはこれも幹事特製チャームのお土産付きです。



黒川理事長の乾杯を持って「新年の集い&18 期生歓迎会」がスタート。最初に部会長挨拶として、各部会の活動内容を説明するパートを設けました。勧誘ありの熱意あるプレゼンとなりました。

そして田島インストラクター⑩の司会にて、まずは 18 期生の紹介です。本日参加の 16 名がリレー形式で、入会動機や今後の抱負などを一人ずつ披露しました。続く各期メンバーの紹介では、つつい多弁になってしまう方もいましたが、参加の 1 期、5 期、8~17 期の全 51 名を紹介出来ました。

宴席はここであつという間に時間いっぱいとなり、上宮田インストラクター⑩より締めの挨拶を受け盛会のうちに終了しました。参加した方より、久しぶりで楽しかった良かったとの声をいくつかいただきました。進行に協力いただいた方々、および参加の皆様には幹事より御礼申し上げます。

- 新年の集い&18 期生歓迎会
次第
1. 開会のことば
 2. 理事長挨拶&乾杯
 3. 部会長挨拶
 4. 18 期生挨拶&抱負&質問
 5. 各期メンバー挨拶&紹介
 6. 締めの挨拶
 7. 閉会のことば

新年の集い&18 期生歓迎会



(記 小国一男⑩、写真 幹事撮影)

【森林技術部会主催】 手元ロープ作成講習会（簡単さつま編み）

日 時 : 令和 7 年 2 月 1 日 12:00~15:00

場 所 : アミュー厚木

講 師 : 滝澤⑤、岩田⑭

参加者 : 石垣⑮、岡村⑯、久慈⑯、大谷⑰、小池⑰、野口⑰、川口⑱、小林⑱、島崎⑱、平出⑱、藤巻⑱、山口⑱

2 年に 1 回の手元ロープ作成講習会、今回は厚木で 12 名が参加して行われました。内容は、①簡単さつま編みの構造解説 ②ロープを一度 3 本にほどき、もとに戻す（ロープを編む）疑似体験 ③簡単さつま編み実習 ④（参考として）ロープをつなげる技術共有 と盛りだくさんで、頭と手の両方を使う集中した講座となりました。

簡単さつま編みに使ったロープはクレナモ s 9mm 径です。丁寧に解説頂いているとはいえ、提示スライドを見ただけは???となった参加者も多く、「次に差し込むのはどのストランドですか?」の声が相次ぎました。が、講師の方々の直接指導でだんだん要領を得てきて、あとはシーンと静まり返った講義室で息を詰めてもくもくと作業を進めることができました。

出来上がりは、プロ級の方、4 回もほどきなおし、必死に頑張ったのにぼこぼこでとても見られないもの（久慈の作品）と様々でしたが、森林インストラクターの基本の持ち物をそろえられ、大きな収穫となりました。

その他、②のロープを一度 3 本にほどき、もとに戻す（ロープを編む）疑似体験では、昔の人の知恵と技術に思いを馳せたり、当日習った以外のロープの結び方を色々教えていただいたり、実查の作業場面でのロープの使い方を共有いただいたりと、充実した機会となりました。



(記 久慈 真理⑯、写真 滝澤 洋子⑤)

活動短 信

今回の掲載はR6年11月30日からR6年12月14日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

2月(如月)(旧暦1月睦月)の
二十四節気、七十二候、鳥こよみ

啓蟄3/5 春分3/20、桃始笑(ももはじめてわらう3/10~3/14)。花が咲くことを昔は「笑う」と言っていました。アゲアゲの気分になりますね!!

鳥こよみ: シジュウカラが春の轉りを始めています。胸の黒いネクタイがオシャレなこの身近な小鳥、ネクタイが太いオスがモテるそうです。この季節、メスをさそって巣作りの場所を探します。時には郵便受けや庭の植木鉢の中などビックリするところに巣を作ることも!!

活動短 信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です(200字程度で、Word、メール直筆は可、Excel は不可)。
写真はなくても構いません。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付: 令和 x 年 x 月 x 日(曜日)できれば時間と天気も

場 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 (公財) かながわトラストみどり財団、 看護師

例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

インストラクター① (○数字:期) 研修枠

以下、本文を400字前後を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名、写真撮影者名=フルネーム+期 もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします m()m

◆ アコム株式会社様 森林保全活動

活動名: アコムの森 (神奈川)

日 令和6年11月30日(土) 10:00~15:00 快晴

場 県立21世紀の森

参 12名

県 県水源環境保全課 山田様

イ L 森本⑰、西出⑱、鈴木(強)⑰

本日は晴天に恵まれる中、アコム様様の森林保全活動の間伐が、21世紀の森にて行われました。

4名ずつ3班に分かれて作業を開始。間伐作業は約1年ぶりということと、初参加の方もいらしたので、午前中は、復習を兼ねて基本及び注意点も含めて手順を説明しながら作業を進めました。

参加者の皆様の説明を聞く表情、又解らない点や疑問に思った事などをその都度質問され、作業に取り組む意識の高さにとっても関心いたしました。伐倒後は、玉切りや

枝払い等を行い昼休憩に。

午後は、インストラクターが見守る中、午



前中の作業を思い出していただき、参加者だけで間伐にチャレンジ。皆さん積極的に意見を出し合い、伐倒方向などを決めたりしていました。

作業終了後には『今日はとても貴重な体験をしました』『1本間伐するのにこれだけの労力を消費するなんて、森林を守っていくのは本当に大変なんです』などの感想が聞かれました。



本日の参加者の方々と接して、今後のアコム様様の森林保全活動に期待しか残りませんでした。

(記 鈴木 強史⑰、写真 森本 利弘⑰)

◆ 第2回 かながわ木づかいフェア

日 令和6年11月30日(土)、12月1日(日)

両日とも10:00~16:00 晴れ

場 三井アウトレットパーク横浜ベイサイド3F

参 177名 (11/30: 大人39、子ども56計95、
12/1: 大人41、子ども41計82)

財 11/30: (みどり企画課) 壺崎 様、
(みどり森林課) 江坂 様、
12/1: (みどり企画課) 星乃 様、
(みどり森林課) 倉野 様

イ 11/30(土) L 森本⑤、菊地①、安部⑤、
小国⑰、三浦⑰

12/1(日) L 森本⑤、菊地①、小笠原⑩、
福原⑩、小野⑱

かながわトラストみどり財団のPRを目的に、初めてとなる企画課・森林課合同イベント。企画課(まちのみどり)は、緑地保全活動の訴求からシュロ葉ほうきづくりのクラフトを、森林課(やまのみどり)は、水源の森林づくりの訴求から水源涵養機能実験をマストとしつつのミニ紙芝居、クイズ、と葉巻笛を提供した。

会場は、小2~4年生が多く詰めかけたこともあり、大変な



賑わいで来場者規模 3 千名という声も。久し振りに、神奈川県森林関係団体が結集出来、良かったと思いました。
(県・森林再生課、県木連、県森連・愛川町森林組合、活性化協議会、建具協同組合、県民会議、(株)ラ・ルース、NPO 法人チルドリン、トラスト財団)

近い内に本会も「体験もの(注)」で単独エントリーして、存在感を示したいなと思いました。

(注) 例えば、木文字クイズ …

(記 森本 正信⑤、写真 小国 一男⑰)

◆ 横浜市立洋光台第三小学校 愛川体験学習

日 令和 6 年 12 月 5 日 (木) 12:30~14:30 晴れ

場 宮ヶ瀬湖畔

参 50 名 (こども 44 名、大人 6 名)

財 みどり森林課 古舘様

イ L 小国⑰、野牛⑧、内野⑨、西岡⑭、大川⑱

クリスマスの飾り付けがなされた宮ヶ瀬湖畔で、横浜市立洋光台第三小学校による愛川体験学習が開催され、そのプログラムのひとつ、森林学習として森林内の整備体験を行いました。

当日お昼の天気は晴れ、気温約 14℃、風はほとんど無く、野外で体を動かすにはちょうど良い天気です。林地は「宮ヶ瀬湖畔園地」の「親水池」西側にあり、約 20 年前に広葉樹が植えられフェンスで囲まれています。最近何回か整備活動に供され、今回は入口から向かって左側を整備対象としました。



当初スケジュールでは 13:00~15:00 の活動予定でしたが、小学校、財団、インストラクターともに時間前に集合し準備が整ったため、30 分前倒して開始となりました。

開会式の後、ノコギリ、ヘルメット、フェースガードを装着して林内に入ります。5 年生 2 クラスが 4 班に分かれ、インストラクターの指導のもと、下草を刈ったり、不要な低木を切ったり、倒木を切って短くしたりして整備を進めていきます。

途中休憩をはさんで 1 時間強、最初に置いた水筒の位置でずいぶん奥まで作業を進めたことに気がついたり、隣の班との間にこんもり茂った雑草を切ったり、倒木を短くするついでにコースターをつくる生徒もいて、森林内の整備を文字通り体験してもらったと思います。作業後、道具清掃、閉会式を行い、事故や怪我無く次の体験学習に向かう生徒を見送り、森林学習の終了としました。

(記・写真 小国 一男⑰)

◆ 日揮グループ様 水源林保全活動

日 令和 6 年 12 月 7 日 (土) 10:00~15:00 晴れ

場 やどりき水源林

参 日揮ホールディングス株式会社 社員+家族+社員友人 総勢 9 名

イ L 上宮田⑩、笠原⑬

まだまだ木々の彩りが残る秋晴れの中、ご参加の皆さんは新松田駅からバスに乗りしやどりきバス停で下車、そこから水源林までは紅葉を愉しみながら徒歩でお越しいただきました。一般道での事故渋滞に巻き込まれ遅延が予想されましたが幸い予定通りのスケジュールで開始、本日の参加者 9 名のうち 5 名が外国(インド・フィリピン)からお越しの社員とご家族。開会式ではそれぞれ一番好きな果物を挙げつつ英語での自己紹介・日揮体操・活動の安全の説明の流れで、早速午前の活動に入りました。



リース作りの材料集めグループは管理

棟側からやどりき沢を渡りスギ・ヒノキの枝葉を収集、竹灯籠作成グループは長い竹を竹引き鋸を使い、伐分、水洗いをして雑巾で綺麗にふき乾かすなどの事前準備です。20 分後に一旦集合し全員で竹にデザイン画を貼り付けます。

手助けが必要な場面ではお互いに支援しあって動く姿が見られスムーズにデザイン画の貼り付けも完了。グループ A はリース作り~竹灯籠作成 グループ B は竹灯籠作成~リース作りです。午前も午後もそれぞれが作成完了し余剰時間にはグループがまとまって林道コースでのミニ観察会と滝郷の滝散策にもご案内できました。

鹿の痕跡・ムササビの食痕も発見しこの森に棲む動物たちの特徴にも触れますと熊はいますか？



リスやサルは？と質問がつかまいません。またクロモジや山椒の香り体験その効能にも興味を示され良い香りだと感激されておられました。

やどりき沢での木伝導体験では初めて聞く水の音に不思議と興奮で何度も耳を当て聞き入っておりました。「やどりき水源林」とはどんな意味？(どんな場所?)の質問も頂きみなさんの飲み水の出发点でこの山には沢山の美味しい水が溜まっていますと説明しますと、大きくうなずき、納得された姿が印象的でした。

午後西日に照らされた紅葉が一層艶やかになり気分も

高揚、日本の秋も満喫いただき素敵な場所で又来たい！竹灯籠とリースも完成し、充実した一日で楽しかったなどの嬉しい感想をいただきました。

事務局およびご参加の皆さんの多大なご支援に感謝申し上げます。

(記 上宮田 幸恵⑪、写真 野村 昭憲⑭)

◆ 鎌倉市公園協会様 緑のレンジャー講習会

日 令和6年12月7日(土)10:00~14:30 晴れ

場 鎌倉市 鎌倉中央公園

参 17名

ス 鎌倉市公園協会 西野様、後藤様

イ L安部⑤、水上⑬、鈴木秀⑰

鎌倉市主催 緑のレンジャー講習会 全9回中 第7回 実習「公園管理作業」

参加者17名(男9名、女8名)、午前公園管理作業実習、午後反省会を行った。

午前3時間は、これまで習った内容を駆使して公園管理者としての観点で、樹木・下草の整備を行っていただいた。子供たちが遊ぶ広場の脇の法面を整備することで、安全に配慮することを学ぶとともに、市民の皆さん

に整備の実態を知っていただく事も出来た。午後1時間は、受講者の質問に対してインストラクターが解説を添えて回答する形式で反省会を行った。

モミジとアジサイ以外は伐採しても良いという大方針のもと、受講者の考えに沿って、密集部の間伐、高木の垂れ下がった枝の伐採、下草刈りを行った。作業前と後で比較した仕上がり goodness に、皆達成感を感じていた。



広葉樹の間伐

(記・写真 鈴木 秀明⑰)



高木の枝伐採

午後の質疑は、ロープを使用して処理を行う樹木の太さはどれくらいか、どういう樹木を選定すればよいのか、等、かなり高レベルな質問が出され、関心の高さが伺えた。

12月の寒空の下でしたが、皆さんひと汗かき満足感の為か議論も活発に行えた。

◆ アルバック様 森林再生プロジェクト

日 令和6年12月7日(土)10:00~13:00 晴れ

場 県立21世紀の森

参 44名(大人37名、子ども7名)

県 水源環境保全課 野口技師、黒田主事

イ L田島⑰、瀧澤⑤、西出⑫、内田⑰、三浦⑰、繁山⑱、田中⑱

当日は今年一番の寒い朝でした。

開会式前に、アルバック先発隊とインストラクターが枝打ちエリア(成長の森H28)に入りリースの材料とするスギの枝を約100本(参加者1人約5本分)集め、大きく広げたブルーシートに満載して成長の森の下まで運びました。

開会式後に枝打ちグループとリース作りグループに分かれ、枝打ちグループは道具を装着し成長の森H28へ向かいます。アルバック様は森林再生プロジェクトを3年前からおこなっており、枝打ち参加者は精鋭揃いでした。割り当てられた各班30本はすべて綺麗に出来ました。傾斜が厳しく足元が不安定な場所での作業でしたが怪我もなく、終わったころには陽の光もさして、とても明るいスギ林になりました。

そしてリース作りグループは先発隊が準備したスギの枝を広場まで運びます。インストラクターが枝を丸く曲げて針金で留めるといった基本的な手順を教えると、それ以降は参加者が思い思いにオーナメントを取り付けて製作に励みました。最初は硬い表情だった参加者も作品を自慢したりしてとても楽しい雰囲気でした。家族で参加された方は協力し合い、一人で参加の方はインストラクターの手を借りて、楽しく話をしながらとても素敵なリースが出来ました。出来上がったリースを誇らしげに車に積んでいる姿を見ると、枝打ちグループも次はリース作りをやりたいと言っていました。朝、今年一番の寒さで凍えるようでしたが、終わった時は、身も心もホカホカとした良い一日でした。

(記 田中 和代⑱、写真 田島 聖一郎⑰、繁山 公一⑱)



◆ チューリッヒ保険会社様 神奈川チューリッヒの森 森林再生活動

日 令和6年12月14日(土)10:00~14:30 晴れ

場 県立21世紀の森

参 大人49名、子供11名

県 水源環境保全課 星様、藤原様

イ L牧石⑭、松本⑪、西出⑫、西岡⑭、広浜⑰、野口⑰

雲一つない晴天の下、神奈川、東京、埼玉、千葉からチューリッヒ保険会社の社員、ご家族総勢 60 名がマイカー、電車で 21 世紀の森に参集され間伐 G と自然観察・木工工作 G に分かれて森林再生活動を実施した。



間伐 G は全体で間伐の意義を学んだ後に 33 名が 4 班に分かれて各班 2 本の杉の間伐を実施した。子供から大人まで初めて間伐する人がほとんどで受け口の斜め切りに悪戦苦闘していた。また、作業中は声を掛け合いながら和気藹々とした雰囲気です。2 時間の作業もあっという間に過ぎ、もう少し作業をしたいというお声も散見された。

自然観察・木工工作 G は、1 時間木製の箱を作成後、1 時間の自然観察を行った。紅葉鑑賞、スカシダワラ発見、すすきの綿毛飛ばしなどを楽しんだ。また、都心の子供が多かったので、自然がすごく多いと喜びランド、庭を飛び回り昼食後もムクロジのサポニン実験やムクロジの種子集めなど 21 世紀の森を満喫していた。



（記 野口 忠志⑩、写真 牧石 稔⑭）

◆ 第 16 回 県民参加の森林づくり（枝打ち）

日 令和 6 年 12 月 14 日（土）9 時 30 分～12 時 20 分 晴れ

場 秦野市堀山下

（第 61 回全国植樹祭植栽地（2010 年 5 月））

参 65 名（予定 75 名）

財 豊丸様・古館様・藤本様 看 佃様

共 秦野市・川上様

イ L 内野⑨、大原⑬、斎藤⑬、大見⑮、相澤⑮、松浦⑯、永田⑯、久次米⑯、三好⑰、内田⑰、文原⑰、雨宮⑰、松原⑰、中鉢⑰、堤⑱、山口⑱

当日は、雪を戴いた富士山がきれいに見える快晴であったが、風も吹いていたのでとても寒く感じる朝だった。9 時 10 分頃より、秦野駅南口より、バス 5 台で現地へ向

かった。現地集合組と合わせて、一般参加者は 75 名の参加予定に対して、61 名で全体的に若い人、若い会員の参加が多い活動となった。

9 時 30 分頃から、オリエンテーションが行われ、統括リーダーから作業について、幹から枝が飛び出ている“でべそ”や“ひげ枝”を根元まで残さないように 1 本 1 本触って確認するように、また、安全目標は“近接作業注意”と“足元注意”が宣告された。その後、班ごとに徒歩で活動場所へ移動したが、事前調査時に道を整備しておいてもらったようなので、各班共スムーズに到着することができた。

10 時頃、各班で作業方法、注意事項を説明し、特に初参加や高校生の方々には、「でべそ」にならないように丁寧な説明や実技で指導して



いた。途中、2～3 回の休憩を入れて、各班とも作業を完了したが、「でべそ」のダメだし修正の指摘があり、再度 1 本 1 本、手でなぞって念入りな「でべそ」の確認修正作業を全員で行った。それでも、11 時 50 分頃には、予定の時間内で全域の枝打ち作業を終了することができた。

閉会式の場合に戻って、一部の班内でヤマビルが付着していたことが分かり、ちょっとした騒ぎにもなったが、全員、怪我、体調不良もなく無事終了することができた。



今回の県民参加は、比較的若い期のインストが多く、また 18 期 2 名、17 期 1 名がインストデビューし、今後の活躍が期待される。

（記・写真 中鉢 実則⑰）

シリーズ

『やま』の色々

今月の掲載はありません。
次回掲載は 4 月号です。

やどりき水源林ミニガイド

「やどりき森の案内人」

森の案内人は3月から再開します。毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。詳しくはこちらからご覧ください。

<https://www.forestkanagawa.jp/4fieId.html>

「やどりき水源林ニュース」

過去号は上記リンク先からご覧になれます。

ミツマタ観察会のお知らせ

3月15日(土)に神奈川県森林インストラクターが案内するミツマタ観察会(参加費無料)が開催されます。申し込みは以下のリンクか別添のチラシから!

[申し込み](#)

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <https://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当: 森本 利弘)

◇ **森のなかま原稿募集** ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。原稿は随時受付けています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

河西 静夫
skasai0618@gmail.com

<電子配信会員向け担当>

小池 宗子
muneko-sakura@outlook.jp

<本誌、別冊原稿送り先>

河西 静夫
skasai0618@gmail.com
小国 一男
ka-oguni@ab.auone-net.jp

受信漏れを防ぐため本誌、別冊とも上記に2名にお送りください

◇ **編集後記** ◇

★日頃より活動短信のご投稿ありがとうございます。会員の皆様から寄せられた原稿は、⑮河西氏が毎月編集し、「森のなかま」として電子配信、または郵送されます。事務局、各部会やネットワーク派遣管理部などからのお知らせは、⑰小国氏が毎月編集して、「別冊 森のなかま」として配信されます。これだけ感染症が蔓延している昨今、急な発熱など予期せぬイレギュラーな事態が起こることも想定しておかなければなりません。勿論、ほかの活動でも。そこで、編集に興味、関心のある方 募集中です! (小池む)

★ JPCZ なる気象用語を天気予報で耳にするようになりました。日本海寒帯気団収束帯とのこと。冬将軍とほぼ同じ意味なのでは?と個人的には受け取っていますが、冬将軍のユーモラスなイラストが天気図上にあると、最近の激化する気象現象に対する危機感が伝わりにくいのかな、とも邪推しています。(小国)

★ 本号の巻頭は、やどりき水源林で久しぶりに開催された新年イベント特集。午前中は安全の集い、午後は場所を移して18期生の歓迎会と新年の集い。幹事の皆さんからは幹事特製「安全おみくじ」がサプライズで配布されました。私が引いたのは中吉、おかげは「安全」と思い込んだら「危険」です。今年一年、この言葉を肝に命じて無事故で乗り切ります! 幹部の皆様ありがとうございます!! (河西)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

かながわしずくちゃん Twitter は下記URLで見ることができます。



https://twitter.com/kanagawa_sizuku



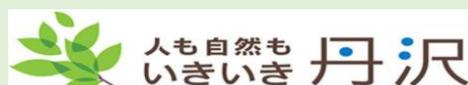
やどりき水源林問合せ: (公財)かながわトラストみどり財団

TEL: 045-412-2255 / FAX: 045-412-2300

<https://ktm.or.jp/> Mail: midori@ktm.or.jp

かながわ森林インストラクターの会

<https://www.forest-kanagawa.jp/> Mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。

<http://www.tanzawasaisei.jp/>

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454 **かながわ森林インストラクターの会**
宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 河西 静夫
広報部: 黒川 敏史、松本 保、
笠原 かずみ、長尾 晴子、
小林 照夫、小国 一男、
小池 宗子
支援: 大原 正志、吉田 郁夫

森の案内人☆特別企画

無料☆要申込

やどいきの森へ行こう！

第3回テーマ：水源林のミツマタ群生鑑賞

～早春に咲くミツマタ観察で春を感じよう～

- ・開催日：令和7年3月15日（土） 少雨決行
- ・申込締切：3月1日（土） 受付開始：1月15日（水） 定員：50名（先着順）
- ・場所：やどりき水源林（足柄上郡 松田町 寄）
- ・集合：小田急小田原線 新松田駅北口に8時30分までにお越しください。
神奈川県森林インストラクターがご案内いたします。

※新松田駅～やどりき水源林ゲート間はバス送迎となります。（バス代は各自負担：片道690円）

- ・帰り：やどりき水源林ゲート 14：30 発 ⇒ 15：10 新松田駅着 解散

“ミツマタ”の群生をみながら、早春の風を胸いっぱい！



ツノハシバミ



ミツマタ



フサザクラ



ダンコウバイ



動物たちのお話もあるよ！



テングチョウ



キタテハ



中津川沿いの河津桜

- 問合せ先*公益財団法人かながわトラストみどり財団 みどり森林課

TEL：045-412-2255 web サイト：www.ktm.or.jp

- 申込み先* N P O 法人かながわ森林インストラクターの会

住所：〒243-0018 厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604

E-mail：yadoriki@sirius.ocn.ne.jp



フデリンドウ

参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入の上、メール又は往復はがきでお申し込みください。
多数応募の場合は、受付順とさせていただきます。（締め切り後、詳細について改めてご連絡させていただきます）